

このマップの危険度は、地震動によって建物が壊れたり、火災によって予想される死者数より危険性の度合いを評価したものです。この危険度は、予想される地震による揺れやすさと地域にある建物の倒壊危険度や、火災出火の関係などによって判定しています。なお、調査は多くの仮定に基づいており、被害の分布傾向を知るためのものです。今後、これらの結果をもとに、市民の皆さんとともに活用して、災害に強いまちづくりに活かしていきたいと考えています。

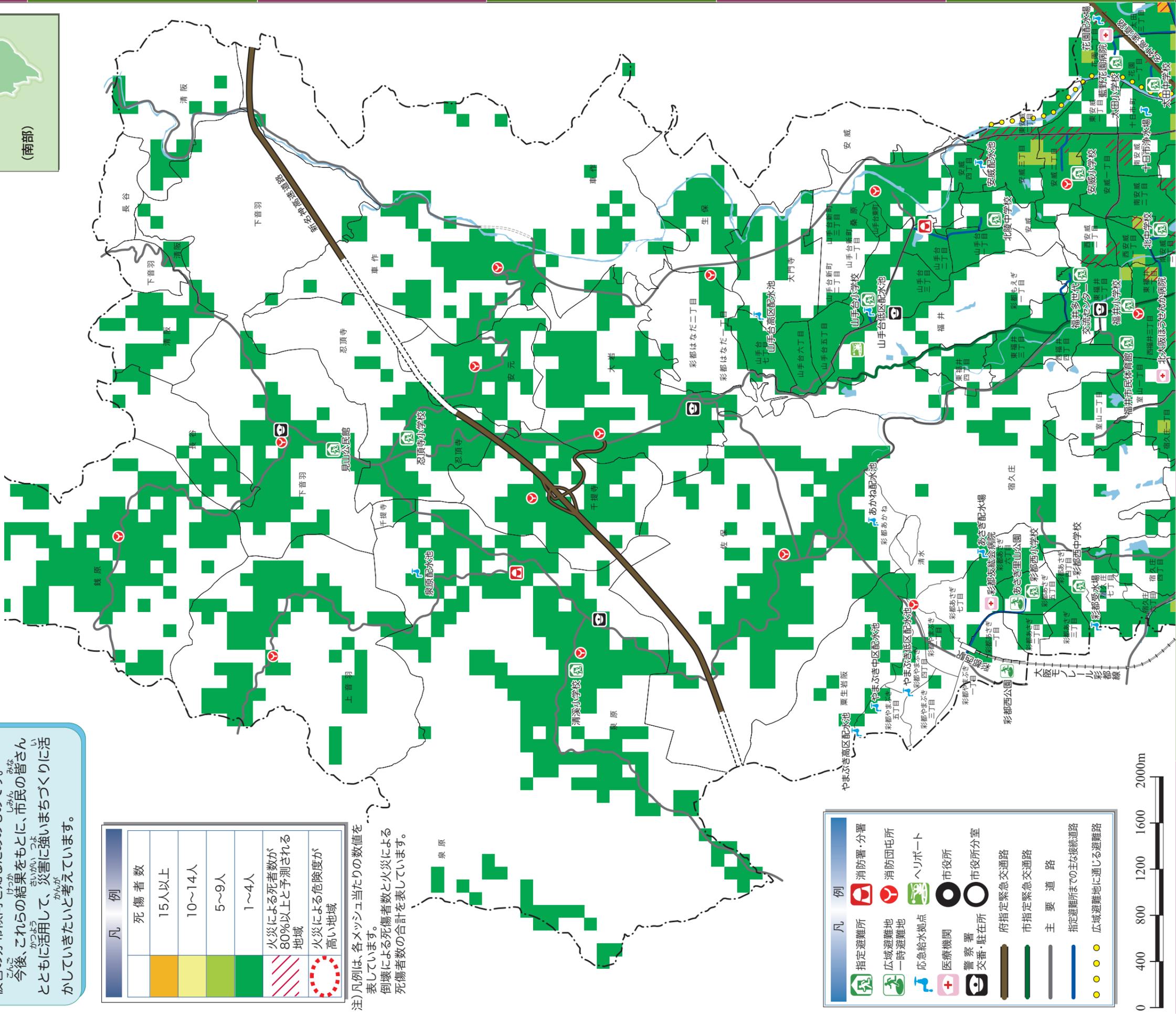
凡 例	例
死傷者数	
15人以上	
10~14人	
5~9人	
1~4人	
火災による死者数が80%以上と予測される地域	
火災による危険度が高い地域	

注) 凡例は、各メッシュ当たりの数値を表しています。倒壊による死傷者数と火災による死傷者数の合計を表しています。

マップの作成手順

住民基本台帳(H19年)をもとに、各メッシュの人口を推計し、全半壊数と被害の関係から建物の倒壊による死傷者数を推計しました。次に、市・府・国による火災災害の推計値の比較結果より、火災による死傷者数を加えて、建物倒壊及び火災による死傷者数を推計しました。家屋の倒壊率が低くても、火災による影響で危険性が高くなる場合があります。

注) 市(茨木市防災アセスメント調査/H8年度)
府(第2次大阪府地震被害想定調査/H18年度)
国(中央防災会議 中部圏・近畿圏の内地地震の震度分布等/H18年度)を参考に推計しました。



凡 例	例
指定避難所	
広域避難地	
一時避難地	
応急給水拠点	
医療機関	
警察署 交番・駐在所	
市役所	
市役所分室	
府指定緊急交通路	
市指定緊急交通路	
主要道路	
指定避難所までの主な接続道路	
広域避難地に通じる避難路	

